昭和57年 第789号
4月11日

市報 にいがた

市の人口
前月比
人口 455,874 (+189)
男 223,568 (+63)
女 232,306 (+126)
世帯数 145,162 (−62)
57年2月末日現在

発行日 毎週日曜日
発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町866
電話 代表(28)1000
編集人 二宮省三
(担当企画部広報課)
印刷所 (株)第一印刷所

職住ドッキング造り
「もぐらの家」が新築移転

「もぐらの家」の入所者を前に激励する川上市長(立っている人)

市内小新にあった心身障害者収容授産施設「新潟もぐらの家」が、坂井に〝心身障害者タウンホーム〟として新築移転し、四月一日に入所式が行われました。式典には、川上市長をはじめ、県、市、父兄ら関係者が出席し、完成を祝いました。

新潟もぐらの家は、昭和四十六年四月に障害者が家庭的な雰囲気の中で生活しながら、社会復帰を目指す場として、地元の人の協力で小新の農協倉庫を改造して造られたものです。しかし、建物は木造で狭いうえ、老朽化が目立っていました。

新しく出来た建物は、県の〝タウンホーム構想〟により、職住ドッキング造りで、働く場と生活する場が一緒になっています。用地は市が提供し、建物は国、県の補助により建設しました。総事業費は、用地費も含めて約二億二千万円。

建設地は、西川沿いの坂井五五三番地一で、敷地面積は一千二百五十二平方㍍。

構造は、鉄骨造り平家建て(一部二階建て)、延べ七百七十八平方㍍。内部は、居室、作業室、食堂、指導室、休養室などがあります。

これまでは、十人が市の補助金とウェス作業(油をふいたり、機械を掃除する布)の収入で生活をしていました。

四月からは、今までどおり十人は通所ホーム(もぐらの家)で生活しますが、新たに十人が通所授産施設(もぐら工房)へ通い、二十人で作業に当たることになります。

仕事は、ウェス作業のほかに、タイプや写真植字機による オフセット印刷、ポリ袋を作る製袋作業を新たに加え、収入を得ます。

運営は、社会福祉法人「新潟もぐら会」が行います。

57年度一般会計予算案など44議案を可決
～三月市議会終わる～

八百九十億八千万円にのぼる五十七年度一般会計当初予算案や各特別会計予算案、企業会計予算案など四十四議案を審議する三月定例市議会は、全議案を可決し、三月二十九日閉会しました。

可決された議案は、五十七年度一般会計当初予算案など予算案が十四件、条例の制定が美術資料取得基金条例と新潟駅南口駅前広場条例の二件、条例の一部改正が、市職員の定数を二十三人削減する市職員定数条例の一部改正など二十二件、財産の取得は、五十八年四月開校予定の第三石山中学校の用地取得一件、財産の譲与は、さる四月一日開所した新潟もぐらの家の敷地譲与一件――など計四十四件です。

また、教育委員に、高橋英雄氏が再任されました。

採択された請願・陳情は次のとおりです。

請願 ▼保育施策の充実について――①私立の教職員に対する研修費補助を拡充することの要請 ▼私学助成の増強について――①施設の改善・充実に着手する学園に対しては、学園の財政運営を一層民主的にしていくことを条件に、特別助成金を交付すること②私学助成の大幅増額を国と県に強く要望すること ▼私立幼稚園の園児および教職員に対する補助金の増額について――①私立幼稚園の教職員に対する補助金を一人当たり年額教諭六万円。その他の職員四万八千円に増額してほしい ▼桃山町地内の道路整備について ▼障害の重い精神薄弱者が通園できる通所更正施設設置について ▼核兵器完全禁止と軍縮に関する意見書の提出について

陳情 ▼私学助成の増強について――毎月第一・三日曜日午前八時十五分～三十分

●市民のかけはし(NST)
――毎週日曜日午前八時五分～十分

●おはよう新潟市です!(TNN)
――毎週土曜日午前九時五十五分～十時

高額療養費の自己負担額引き上げが延期

国保課から配布されたパンフレット「わたしたちの国保」の中に、四月から高額療養費の自己負担額が「五万一千円に引き上げられる」(現行三万九千円)――と記載されていますが、国の諮問機関である社会保険審議会の答申が当初の見込みより遅れているために、予定されていた四月一日からの実施はなくなりました。

したがって、自己負担額は当分の間、従来どおりの三万九千円です。なお、改定がありしだい、「市報にいがた」でお知らせします。

県知事選挙 投票日は25日
あなたの大切な1票を

投票できる人

日本国民で、昭和三十七年四月二十六日までに生まれた人で、昨年の十二月三十日までに本市の住民基本台帳に登録された人。ただし、投票日の前日までに県内の他の市町村に住所を移した人は投票できません。(名簿に登録されている人で、昭和五十六年十二月二十五日以降に本市から県内の他の市町村に住所を移した人で、その市町村長の発行する「引き続き同一県内の市町村に住所を有する旨の証明書」を提示すれば投票できます)

こんな方法による投票もできます

▼**一般の不在者投票** 投票日当日、仕事か用務などで、投票所へ行くことができない人は、投票日の前日までに不在者投票所へ出向き、不在者投票をすることができます。

持参品 印かん、入場券が郵送済みの場合は同券も

期間 四月二十四日まで

時間 午前八時半～午後五時(土・日曜日も同じ)

場所 中央公民館、各地区事務所

▼**指定病院等による不在者投票** 指定病院(おおむね五月当日、仕事か用務などで、投票所へ行くことができない人は、投票日の前日までに不在者投票所へ出向き、不在者投票をすることができます。

持参品 印かん、入場券が郵送済みの場合は同券も

期間 四月二十四日まで

時間 午前八時半～午後五時(土・日曜日も同じ)

場所 中央公民館、各地区事務所

▼**郵便による不在者投票**

※申請手続きは、本紙四月四日号に掲載のとおりですが、不明の点は選挙管理委員会(☎28―1000)へ

立会演説会

月日	会場	時間
4・14	小針小学校	午後七時から
4・23	市公会堂	〃

きれいなまちづくり運動
4/24 鳥屋野潟清掃を実施

「きれいなまちづくり運動実行委員会」(猪俣信市会長、参加団体数四十一)では、四月二十四日、鳥屋野潟畔の大清掃を実施します。

二千本の桜が咲き誇る鳥屋野潟畔は花見の名所。しかし、心ない花見客の捨てた空カン・紙くずで汚れてしまいます。

そこで、ふるさと新潟を、緑豊かなごみのないきれいな町にしようと運動を続けている同委員会では、毎年この時期に鳥屋野潟清掃を行っています。皆さん、ご参加下さい。

日時 四月二十四日午後一時半～(雨天中止)

集合場所 ホテル湖畔前

清掃区域 排水機場付近から神道寺までの鳥屋野潟畔

持参品 ポリ袋、軍手 ※実行委員会でも用意しますが、できるだけご持参下さい。

また、従来通り、海水浴シーズンの前後には、関屋・日和山などの海浜、公園の清掃、秋には道路清掃なども実施します。検討中のクリーンモデルゾーンを具体化させるための準備も進めていきます。

今年は「環境週間ビッグキャンペーン」を実施

同委員会では、環境週間中の六月六日に、大規模な「環境週間ビッグキャンペーン」を新たに計画、街頭PR・清掃車によるパレードなどの企画を取り入れ、きれいなまちづくりを訴えます。

57年度予算を特集「ひろば」8号完成

市政キャンペーンパンフレット「ひろば」第八号(B5判、四十四ページ)が完成しました。今回は、レギュラー企画のほかに、「五十七年度予算の特集」を組みました。「ひろば」は、本庁、各地区事務所、連絡所の窓口にあります。

市民の皆さん、ぜひ一度お読み下さい。

おもな目次

◆にいがた市内、近郷 憩いの場めぐり (二・三面 見開き)
◆道路改良個所一覧表 (四面)
◆住民記録の電算化――調査委答申 (四面)

はかりの定期検査

日付	時間	会場	検査実施区域
4・19	午前9時～午後3時	市役所本庁(計量検査室)	上大川前通8～10番町、本町通7～10番町、東堀前通5～9番町
4・20			東堀通5～9番町、古町通5～9番町
4・21			西堀前通1～9番町、西堀通1～8番町
4・23		本町中央市場(本町市場)	本町中央市場

※風袋を引いて正しく計りましょう

10時の読書会

会場 沼垂図書館(東総合庁舎内、☎41―4111)
時間 午前10時～正午

月日	テーマ図書	著者名	文庫
4月20日	朝ごはんぬき?	田辺聖子	新潮
5月20日	お昼きま	今東光	〃
6月21日	親とつき合う法	河盛好蔵	〃

「くらしの豆知識」を差し上げます

日常の暮らしに役立つ知識をまとめた小冊子「くらしの豆知識」を作りました。内容は衣食住・用品・健康管理のほか新たに危害事故情報が取り入れられてあります。ご希望の方はどうぞ

配布日時 4月12日午後1時半～(なくなり次第終了)

配布場所・部数
市役所本庁(正面受付) 700部
東・西・中・北地区事務所 各400部

坂井輪図書館 読書会へのお誘い

会場 坂井輪地区公民館3階
時間 午前10時～正午
問い合わせ 坂井輪図書館(☎60―3242)へ

月日	図書名	著者名	文庫名
4月21日	残照に立つ	曽野綾子	文春
5月19日	女が戦場を去る日	沖藤典子	新潮

パンジーの苗を差し上げます

園芸センターで育成したパンジーの苗を皆さんに差し上げます。

日時 4月14日正午～

場所	先着人数	場所	先着人数
市役所本庁前	3,000人	南浜連絡所	200人
東地区事務所	1,000人	濁川連絡所	200人
石山連絡所	800人	入舟連絡所	800人
大形連絡所	300人	関屋連絡所	600人
中地区事務所	1,000人	鳥屋野連絡所	800人
西地区事務所	800人	曽野木連絡所	800人
赤塚連絡所	150人	大江山連絡所	150人
中野小屋連絡所	150人	岡川連絡所	400人
北地区事務所	600人	坂井輪連絡所	700人

※希望者はビニール袋を持参して下さい

人権擁護委員が決まりました

●風間士郎(西大畑町5197)
●植木市松(松浜4―9―3)

新潟市の広報テレビ番組

●こんにちは新潟(BSN)
――毎月第一・三日曜日午前八時十五分～三十分